Press Release

2026 年 11 月 20 日
九州電力株式会社
株式会社正興電機製作所

九州電力が、産業用リチウムイオン蓄電池パックの新会社「株式会社 BIXSAS（ビクサス）」を設立し、正興電機製作所と協業を開始します

― 電池制御技術とものづくり力を結集し、産業機械の電動化を支援 ―

九州電力株式会社（本社：福岡市中央区、代表取締役社長執行役員：中村 典弘、以下「九州電力」）は、産業用リチウムイオン蓄電池パック（以下「電池パック」）（注1）の開発・製造・販売を行う「株式会社 BIXSAS（ビクサス）」（以下「BIXSAS」）を、2026 年 11 月 1 日に設立しました。今後、株式会社正興電機製作所（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：添田 英俊、以下「正興電機」）と協業し、事業を推進してまいります。

BIXSAS は、これまで九州電力が培ってきた電池監視制御設計技術（注2）および電池応用技術（注3）と、正興電機が電力・社会インフラ分野で長年培ってきた製造・品質管理のノウハウを組み合わせ、建設機械や特殊車両などの産業機械向けに、カスタマイズした電池パックを開発から量産まで一貫して提供いたします。また、正興電機は 2026 年 11 月中に BIXSAS へ出資する予定です。

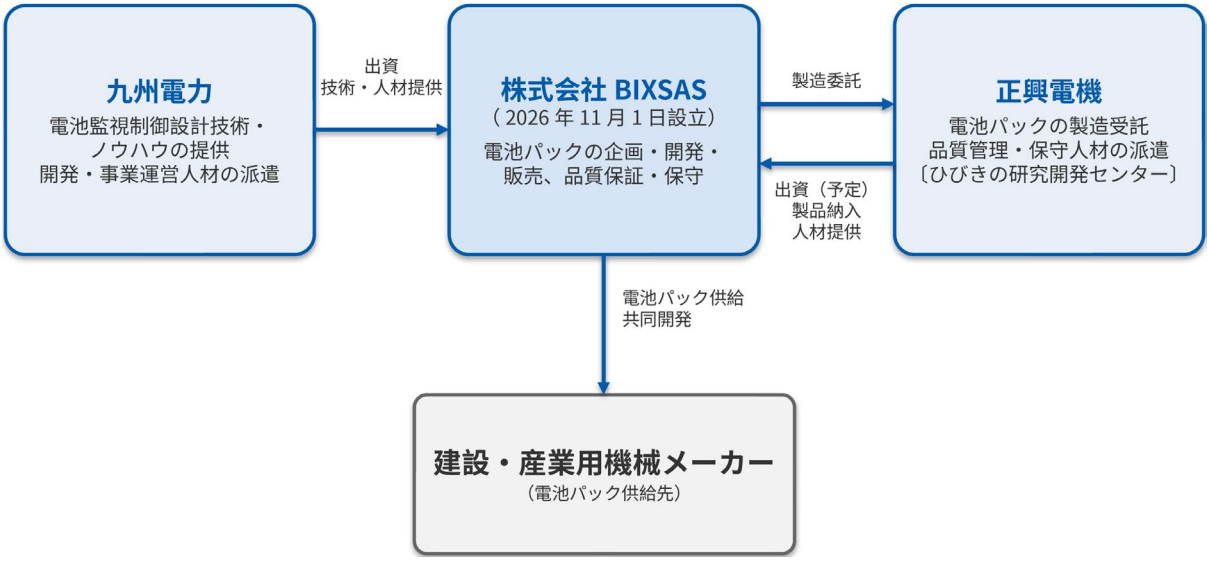
なお、本事業は、キューデングループにおける新規事業創出プログラム「KYUDEN i-PROJECT」に採択され、2022 年 4 月から電池パックの製造・販売を行ってきたものです。

九州電力は、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「キューデングループの思い」のもと、「キューデングループ経営ビジョン 2035」の実現に向け、BIXSAS を通じて、九州発の技術による産業分野の脱炭素化と地域の成長・発展に貢献してまいります。

正興電機は、ひびきの研究開発センター（北九州市・2026 年 10 月竣工）を活用し、長年培ってきたものづくりの技術と品質管理体制を活かして BIXSAS の量産体制を支えるとともに、エネルギーソリューション事業の拡大を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

（注１）リチウムイオン電池のセル（電池の最小単位）やモジュールに、電池の状態を監視・制御する基板や筐体等を組み合わせ、機器に搭載できる形にしたもの。
（注２）電池の電圧・温度等を常時監視し、充放電を制御することで、電池を安全かつ効率的に使用するためのシステム。九州電力は本技術に関する国際特許を取得済。
（注３）二次電池を用途に応じて組み合わせ、低電圧から高電圧までの電池パックを製作する技術。

【事業スキーム】



【株式会社 BIXSAS の概要】

会社名	株式会社 BIXSAS（ビクサス）（英文名：BIXSAS Co., Ltd.）
社名の由来	Battery Innovation × Sustainable Assembly System
設立日	2026 年 11 月 1 日
所在地	福岡市博多区吉塚六丁目６番５号
代表者	代表取締役社長　内山 春彦
資本金	１億円（設立時）
事業内容	産業用リチウムイオン蓄電池パックの開発・製造・販売、二次電池システムの受託開発・技術支援　等

以　上